

社会科学学習指導案

3年3組 31名 指導者 小川 誠

本授業では、以下の検証を行うものである。

追究の柱に沿って調べたことを互いに伝え合う活動を取り入れることにより、子どもが互いの考えを関連付けながら、根拠を明確にした特色を導き出し、自分の考えを再構築することができたか。

1 小单元 学校のまわり（大单元 1 わたしたちのまち みんなのまち）

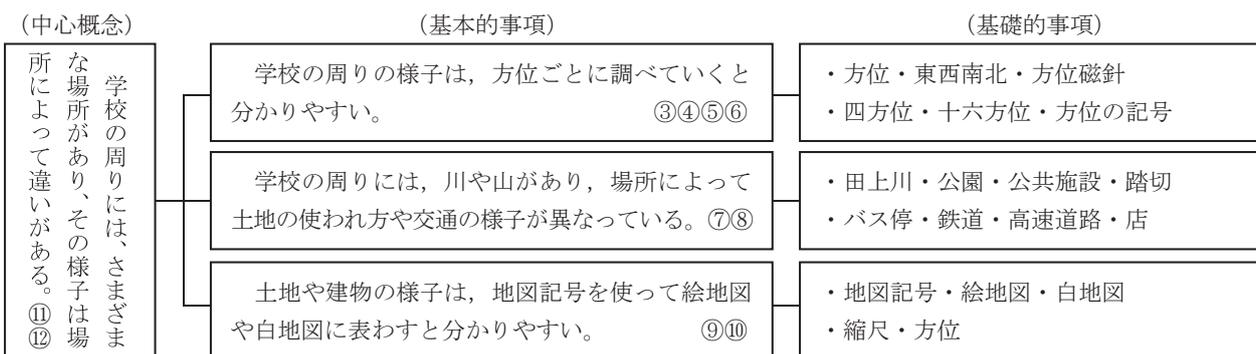
2 目標

学校のまわりの様子を観察し、地形や土地利用の様子、交通の様子について調べ、調べたことを絵地図や平面地図に表して、学校の周りの様子は場所によって違うことを具体的に考えることができるようにする。

3 小单元の評価規準

- 学校の周りの様子に関心を持ち、地形や土地利用の様子、交通の様子等について意欲的に調べ、身近な地域の特色やよさを考えようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 学校の周りの様子を方位ごとに比較しながら、地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付けて考え、考えたことを表現している。 【社会的な思考・判断・表現】
- 学校の周りの様子について必要な情報を集め、調べたことを地図記号等を用いて絵地図や白地図にまとめている。 【観察・資料活用の技能】
- 学校の周りの様子は、場所によって違いがあることやそれぞれの場所の特徴やよさを理解している。 【社会的事象についての知識・理解】

4 小单元の構造について（概念構造図） ※ ○数字は時数



5 小单元について

(1) 小单元について

本小单元は、学習指導要領の第3学年の目標(2)及び(3)の一部を達成することをねらいとして設定した。子どもにとって一番身近な地域である学校の周りについて調べることで、地形等の地理的な条件や多くの人々が住む町等の社会的な条件により異なっていることが分かるようにすることをねらいとする。また、それらの様子については、見学や聞き取り調査を行い、それを絵地図や平面地図に表現する活動を通して、具体的に考えることもねらいとする。

そこで、同じ校区ではあっても、場所によって違いがあることをより具体的に考えることができるようにするために、地形や土地利用の様子、公共施設、交通の様子、古くから残る建造物等を取り上げていくことにする。本校が位置する地域は、田上川（新川）の両岸に広がる町である。学校の東と南には、それぞれ商店街があり、それらの近くは交通量が多く、自家用車やバスが通っている。また、学校の近くには鹿児島本線（JR九州）や九州自動車道等が通るなど、交通の要所となっている。これらのことを関連付けながら指導していくことで、学校の周りの具体的な様子から、その特色にも気付くことができると考える。

さらに、調べたことをまとめる際に絵地図や平面地図で表現させるが、地図記号について取り扱うことにする。学習した地図記号を用いて平面地図を作成させることで、地図記号の良さに気付かせることができる。

このような学習を行うことで、子どもに今まで気付かなかった身近な地域における社会的な事象に目を向けさせるきっかけを与え、それが地域社会に対する誇りや愛情を育てることにつながる。

(2) 子どもについて

本学級の子どもは、3年生になって初めて社会科の学習が始まったこともあり、社会科の学習への関心が高く、授業に意欲的に取り組む姿が見られる。生活をしている校区や学校の周りについて、改めて言葉や図で整理してみると、これまで気付かなかったことに興味をもち、更に意欲的に学習に臨もうとする姿も見られる。

ペアやグループ学習では、自分の考えを相手が分かりやすいように伝えようとする工夫をしたり、相手の考えを自分の考えに取り入れたりしようとする姿も見られている。

(3) 指導について

本小単元では、ジグソー学習を取り入れ、グループ活動を主体に学習を進めることにする。生活グループを基本として行うが、追究の柱ごとのグループ編制を取り入れることで、調べたことをまとめる段階において、他のメンバーとよりよい方法を検討しながら、同じような方法でまとめることができるようにしたいと考える。

また、本小単元の中では、絵地図や平面地図でまとめる活動を設定するが、その際に地図記号を使う良さを感じさせていきたいと考える。方位グループの地図をつなぎ合わせることにより、校区全体をつかむことができるように、子どものワークシートを工夫していきたいと考える。

6 指導計画（総時数13時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ・見通す	1 日常生活や通学の経験をもとに学校の周りの様子について分からないことや疑問に思うことを話し合い、学習問題をつくりあげる。 田上小学校のまわりの様子は、どのようになっているのだろう。 【関・意・態：日常生活や通学途中で見ている地域の様子を想起し、意欲的に学習計画を立てようとする。】	1
	2 学習問題について予想し、学習計画（追究の柱）を立てる。 ○ 地形について ○ 土地利用の様子について ○ 公共施設の場所について ○ 交通の様子について ○ 古くから残る建造物について 日常生活から、よく見たり、近くを通ったりしている場所について想起させ、身近ではあるが、学校の周りについて実はあまりよく知らないことに気付かせる。	1
調べる	3 追究の柱について、個人やグループで調べ、全体で話し合う。 (1) 調べたい方位ごとにグループをつくり、五つの追究の柱について調べていく。 ○ 屋上からそれぞれの方位を見て、学校の周りの様子について調べる。 ○ 方位別に校区探検を行い、学校の周りの様子について調べる。 (2) 調べたことを絵地図にまとめる。 (3) 地図記号について知り、調べたことを地図記号を用いて平面地図に表わす。 (4) 生活グループへ戻り、各自で調べた方位の様子について、共通点や相違点を話し合う。 【思・判・表：学校の周りの様子を方位ごとに比較しながら、地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付けて考え、考えたことを表現している。】 【技：学校の周りの様子について情報を集め、調べたことを地図記号等を用いて絵地図や白地図にまとめている。】 方位ごとに、5つの追究の柱について調べさせ、ジグソー学習を通し、調べたことの共通点や相違点を考えさせることで、学校の周りの様子に気付かせる。	1 3 2 2 1
	4 調べたことをもとに、学習問題についてまとめる。 【知・理：学校の周りの様子は場所によって違いがあることや、それぞれの場所の特徴やよさを理解している。】 学校の横を田上川が流れ、その田上川のまわりに家が集まっている。また、大きな道路やバス通り沿いには、家やお店が多い。	1 (本時)
	5 鹿児島市の様子はどのようになっているのか、これまでの学習を生かし予想する。 小単元の学習問題についてまとめた後、次時の学習である鹿児島市の様子について予想させることで、次の学習への意欲付けを行う。	1

7 本 時 (1 1 / 1 2)

(1) 目 標

これまでに調べた方位の様子、地形や土地利用の様子、交通の様子等を関連付け、各方位の様子を比較し、共通点や相違点に気づき、学校の周りの特色を考えることができるようにする。

(2) 評価規準

各方位の学校の周りの様子について、調べたことを関連付けながら、特色を考えている。

【社会的な思考・判断・表現】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、校区探検において追究の柱に沿って調べて分かったことを振り返りながら、方位ごとに違いがあることに気付かせる。また、本時の学習は方位グループごとに行う見通しを立て、追究の柱が相互に関連があるのか、予想を立てることができるようにする。

「調べる」過程では、方位グループごとに調べたことを関連付けながら、特色をまとめることができるようにする。その際、追究の柱相互の分かったことを関連付け、その根拠を明確にしながらかつ方位の特色をまとめることができるようにする。

「まとめる・生かす」過程では、各方位の特色を比べ、校区全体の特色をつかむことができるようにする。その際、予想と比較しながら本時の学習を振り返り、まとめ文を書くことで自分の考えを再構築することができるようにする。

(4) 本時の展開

□ 重点化するスキル [] 子どもの意識 ○ 指導の手立て ※ 評価

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	(分) 5	1 前時までの振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 追究の柱グループごとに、校区全体の様子をまとめたね。 ・ 方位によってそれぞれ違いがありそうだね。 2 本時のめあてや学習の流れを確認する。 田上小学校のまわりのようすは、どんなくしょくがあるのだろうか。	○ 前時の学習について振り返り、本時の学習の目的を明確に捉えることができるようにする。 ○ めあてや学習の流れを確認し、本時の学習に見通しをもつことができるようにする。 ○ 方位グループで分担した以外の地図を提示し、本時の学習の進め方をつかむことができるようにする。
調べる	30	3 調べたことを方位グループごとに、特色をまとめる。 □ 関連付ける <ul style="list-style-type: none"> ・ 地形の様子によって、土地の使われ方に違いがあるね。 ・ 地形の様子によって、公共施設や交通の様子等に違いがあるね。 4 方位グループごとに分かった特色を発表し、校区地図を完成させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての方位の地図をつなぐと、校区全体の様子が見えてくるね。 ・ 方位による違いの根拠は、地形の様子に理由がありそうだね。 	○ 方位グループごとに、追究の柱に沿って調べたことを持ち寄り、それぞれの特色やその根拠を明確にもつことができるようにする。 ※ 調べたことを関連付けながら、特色を考えている。 ○ 考えることができた子どもには特色やその根拠を明確にさせる。 ○ 考えることができなかった子どもには、地形と土地利用の様子の特徴との関連を例示し、他の特色に気付かせるようにする。
まとめる・生かす	10	5 発表をもとに各方位を比べ、校区全体の様子をまとめる。 □ 比較する 田上小学校の校区は、地形の様子に特色がある。また、地形の様子によって、土地の使われ方など違う。 6 校区の特色から鹿児島市の特色へと興味をもたせ、次時への意欲を高める。	○ 方位グループの発表を比較することで、校区全体の様子をつかみ、まとめることができるようにする。 ○ 振り返りカードを用いて、学習の振り返りをするようにする。 ○ 校区の学習から、他地域や鹿児島市の特色へと関心をもたせることで、次時及び次小単元の学習への意欲を高めることができるようにする。